

すべての人が幸せに暮らせる社会へ



いきがい・助け合い オンラインフェスタ 2025

2025年

10月開催

目指せ 地域共生社会

今こそ多様につながり、出番づくりを進めよう!

2025年8月14日(木) お申し込み開始(予定)

今年もすばらしい登壇者の皆様をお迎えします!

お互いさまの地域づくりを担う多様な立場の実践者が登場

今、必要とされる知識と各地の先進的な取り組みを学べる、ここだけのプログラム

さらに、希望者にはダイジェスト資料を後日お届けします

誰もがいきいきと地域とつながりながら暮らしていくために、どう取り組めばよいのか。全国各地で実践を重ねている地域づくり関係者の皆様を応援するため「いきがい・助け合いオンラインフェスタ」を開催します。テーマは、生活支援コーディネーターと協議体の取り組みや共生型居場所、有償ボランティアの進め方から企業との連携まで、各分野の具体事例をもとに、住民が主体的に参加する地域共生社会の実現に向けた多様なアプローチをご紹介します。参加費は全額「地域助け合い基金」として地域活動に役立てられる“チャリティーフェスタ”です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

開催概要

開催
期間

2025年10月14日(火)～10月23日(木)

具体的なテーマ等は中面をご参照ください

オープニングフォーラム

みんなの参加で地域共生社会を実現しよう

特別トーク

各分野の代表者による特別講演

学ぼう編

8テーマ

語ろう編(ライブ配信)

3テーマ

住民主体の地域づくりに関わる代表的なテーマを事例紹介も含めてパネルディスカッション形式で議論

開催
方法

完全オンライン配信方式

11月30日(日)まで、ライブ配信プログラムを除くすべてのプログラムがアーカイブで視聴可能

申込
期間

2025年8月14日(木) (最終申込日)
～10月23日(木)

参加
費

1000円(税込)

※参加費と同額を当財団の「地域助け合い基金」に拠出して、地域活動を応援します。

プログラム

申込方法

いきがい・助け合いオンラインフェスタ2025
お申し込みウェブサイトよりお申し込みいただけます
<https://festa.sawayakazaidan.or.jp>

こちらから
簡単アクセス



さわやか福祉財団

[主催]



公益財団法人

さわやか福祉財団

お申し込みについて

以下の専用お申し込みウェブサイトからお手続きください（オンライン受付のみとなります）。

お申し込みはこちら

「いきがい・助け合いオンラインフェスタ2025」お申し込みウェブサイト

<https://festa.sawayakazaidan.or.jp>

さわやか福祉財団のホームページからもアクセスが可能です。

<https://www.sawayakazaidan.or.jp>

こちらから
簡単アクセス



申込期間

2025年8月14日（木）～10月23日（木）（最終申込日）

参加費

1000円（税込） ※参加費と同額を当財団の「地域助け合い基金」に拠出して、地域活動を応援します。

お支払方法

参加費のお支払いは、下記のいずれかが可能です。

クレジットカード

コンビニ決済

銀行振込

※株式会社ストラーツ名義への
振り込みとなります。

主な対象

生活支援コーディネーター、協議体構成員、地方自治体、社会福祉協議会、地域包括支援センター等の地域づくり関係者、国・関係機関、NPO・民間団体、企業、学校等の関係者、助け合い・支え合う地域づくりに関係する方、その他関心を持つ一般住民など

参加お申し込みを完了することで、すべてのプログラムが視聴可能です。

ライブの「語ろう編」以外の全プログラムを対象に、
アーカイブ配信（後日見逃し視聴）を11月30日（日）まで予定しています。

－ 後援（予定） －

厚生労働省（社福）全国社会福祉協議会 日本生活協同組合連合会

（一社）日本協同組合連携機構（一社）全国農業協同組合中央会（公財）全国老人クラブ連合会

（特非）高齢社会をよくする女性の会（公社）日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）

（一社）医療介護福祉政策研究フォーラム（特非）地域共生政策自治体連携機構

（認定特非）日本NPOセンター 高齢社会NGO連携協議会 日本退職者連合

（一財）医療経済研究・社会保険福祉協会（一財）健康・生きがい開発財団（認定特非）サービスグラント

（特非）全国移動サービスネットワーク（特非）ニッポン・アクティブライフ・クラブ

（認定特非）日本ファンドレイジング協会（特非）全国コミュニティライフサポートセンター

（公財）公益法人協会（公社）日本フィランソロピー協会 小規模多機能自治推進ネットワーク会議

（一社）シニア社会学会（公財）Uビジョン研究所（一社）日本在宅ケアアライアンス 日本障害フォーラム

（公社）日本医師会（公社）日本看護協会（一社）日本老年医学会（公社）日本社会福祉士会

（公社）日本介護福祉士会（一社）日本介護支援専門員協会（公社）全国公民館連合会 全国自治会連合会

（公社）日本理学療法士協会（一社）日本作業療法士協会（一財）高齢者住宅財団（一社）高齢者住宅協会

（一財）年金住宅福祉協会（一社）日本経済団体連合会（経団連）日本労働組合総連合会（連合）

（順不同）

プログラム テーマと登壇者のご紹介

※プログラムの内容や登壇者は変更になる場合があります。

プログラムの日程は「配信スケジュール」をご参照ください。(敬称略・順不同)

オープニングフォーラム 10月14日(火) 13:05~14:45

「みんなの参加で地域共生社会を実現しよう」

人と人とのつながりは、いかに心や体、そして地域に好影響を与えるのか。幅広く多様な取り組みから、誰もが出番と役割を持てる地域共生社会の実現に向けて、豪華なパネリストのそれぞれの立場から事例を含めて語ってもらいます。

進行役

登壇者



宮本 太郎

中央大学法学部教授



瀧 靖之

東北大学スマート・エイジング
学際重点研究センター センター長
東北大学加齢医学研究所教授



秋山 正子

暮らしの保健室室長
(認定特非) マギーズ東京
センター長



稲葉 ゆり子

たすけあい遠州代表 (一社) 全国信用金庫協会
常務理事



菅野 浩之

特別トーク 10月14日(火) (各15~20分)

地域づくり関係者がぜひ学んでおきたいこれからの社会の動きや制度、考え方などを各分野を代表する方々から語ってもらいます。どなたにも活用しやすいよう凝縮した内容を短時間でお届けする本フェスタならではの特別講演プログラムです。

金融と福祉の連携

駒村 康平

慶應義塾大学経済学部教授
慶應義塾大学経済研究所ファイナンシャル・ジェロントロジー
研究センター長

外国人との共生

是川 夕

国立社会保障・人口問題研究所国際関係部長
博士(社会学)

孤立予防と社会参加、助け合い

近藤 克則

千葉大学名誉教授・グランドフェロー
千葉大学予防医学センター健康まちづくり共同研究部門特任教授
(一財) 医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構研究部長

認知症の理解と対応

杉山 孝博

(医) 石心会理事長 川崎幸クリニック院長
(公社) 認知症の人と家族の会顧問

地域共生社会と地域包括ケア

田中 滋

埼玉県立大学理事長
慶應義塾大学名誉教授

生活支援コーディネーターと協議体と フレイル予防

辻 哲夫

(一財) 医療経済研究・社会保険福祉協会理事長

多世代交流の意義と社会参加

藤原 佳典

(地独) 東京都健康長寿医療センター研究所副所長
日本世代間交流学会副会長
(特非) 日本世代間交流協会副会長

これからの社会保障

中村 秀一

(一社) 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
国際医療福祉大学大学院客員教授
日本福祉大学客員教授

住民の地域参加とウェルビーイング ～国際比較の視点を交えて

松岡 洋子

東京家政大学客員教授

※ 内は現段階で予定している分野のテーマです。正式なタイトルと各講演時間はフェスタのホームページでご紹介します。

学ぼう編(事前収録) 10月15日(水)～10月20日(月)

住民主体の地域づくりを進める上で直面する課題の解決に向けて、考え方の基本や各地の様々な事例の情報を多様に紹介するプログラムです。全国から寄せられる代表的なテーマから8つを設定しました。

※生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)はSCと略しています。

10月15日(水) 13:00～14:00

都市部を中心とした近隣助け合いの広げ方

地域で安心して住み続けるためには、つながりの再構築が不可欠となる。人間関係が希薄といわれる主に都市部に焦点を当てて、近隣助け合いの多様なつながりの可能性を探り、進め方のヒントを学ぶ

進行役 高橋 良太

(社福) 全国社会福祉協議会地域福祉部長
全国ボランティア・市民活動振興センター長

登壇者 柿沼 弦司 四街道市旭中学校地区第2層 SC
鈴木 恵子 (認定特非) ずずの会理事長
岩元 伸司 鹿屋市社会福祉協議会地域福祉課課長

10月16日(木) 13:00～14:00

助け合いへの参加・創出に向けてのアプローチ手法

地域活動への関心をどう高め、助け合いの参加につなげていくのか。上手に住民のやる気を引き出し、自然な参加や創出につなげていくための考え方や進め方を、具体的な手法や事例と共に考える

進行役 飛田 敦子

(認定特非) コミュニティ・サポートセンター神戸事務局長

登壇者 今泉 靖徳 八王子市第1層 SC
大串 倫子 西海市包括支援課保健師

10月17日(金) 13:00～14:30

認知症の人と共に生きる地域づくり

認知症の人々が自分の思いを生かして自分らしく暮らせる地域づくりは、どう進めればよいのか。地域の理解を進め、本人も家族も暮らしやすい地域にするための活動に取り組んでいる実践者、そして当事者の話から支援のあり方を考える

進行役 堀田 聡子

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授

登壇者 さとう みき とうきょう認知症希望大使
村瀬 孝生 よりあい統括所長
横山 麻衣 藤枝市地域包括ケア推進課
認知症地域支援推進員

10月15日(水) 14:05～15:05

小規模自治体で助け合いをどう広げるか

人口規模が小さいまちでは、地域の顔が見える関係があり、しづらみも強いという特徴もある。少子高齢化、人口減少が進む中、強みである強い絆を活かしながら、限られた人材や資源をどう有効に生かして助け合いを広げ、深めていけるのか、様々な事例から考える

進行役 丸藤 競

(一社) みなみ北海道地域づくりサポートセンター代表理事

登壇者 梶谷 唯花 真狩村第1層・第2層 SC
河村 侑乃 九戸村保健福祉課上席主任保健師
早川 理恵 (社福) 大和の園園長

10月16日(木) 14:05～15:25

誰でも受け入れる居場所にするには

共感を生み助け合う関係を広げるごちゃまぜの居場所。認知症の人、障がいのある人、疾患を持つ人、引きこもりがちな若者たち等々ごちゃまぜの中で共に過ごす実践から、その効果と進め方とは。今回は「気になる人たちに来てもらうにはどうしたらよいか」を一緒に考えてみたい

進行役 鶴山 芳子

(公財) さわやか福祉財団常務理事
共生社会推進リーダー

登壇者 加藤 由紀子 (特非) ふれあい天童理事長
上田 潤 (一社) ヒトナリ代表理事
中村 悦子 (一社) みんなの健康サロン海風代表理事

10月17日(金) 14:35～15:35

子どもの育ちを地域で応援しよう

子育ては、親だけではなく地域の多様な人が関わることで、当事者はもちろん地域に笑顔が広がり、皆が元気になる。社会で子育て・子育てを応援する実践法やその効果を各地の取り組みを通じて学び、広げ方を考える

進行役 奥山 千鶴子

(特非) 子育てひろば全国連絡協議会理事長
(認定特非) ビーのビーの理事長

登壇者 小林 普子 (特非) みんなのおうち代表理事
藤田 直美 special SIBLINGS代表

10月20日 月 13:00~14:10

企業と連携した地域づくりの進め方

「共創」「企業パーパス」といった言葉が広く語られるようになるなど、企業は今、地域との多様な連携を進めている。誰もがいきいきと暮らせる地域づくりにおいて企業ができることは何か、参加の方法と効果を考える

進行役 中村 順子

(認定特非) コミュニティ・サポートセンター神戸理事長

登壇者 高野 康栄
野老 真理子
佐藤 清和

佐渡市第1層 SC
大里綜合管理(株) 相談役
厚生労働省
老健局認知症施策・地域介護推進課
地域づくり推進室長補佐

10月20日 月 14:15~15:15

シニアの地域参加の広げ方

多彩な経験を持つシニア層が地域に参加していくことで地域が豊かになり、本人のいきいきした生活にもつながる。地域活動、助け合いの活動に参加するきっかけやコツなど事例から探り、広げ方を考える

進行役 岡野 貴代

(公財) さわやか福祉財団共生社会推進リーダー

登壇者 渡辺 恵司
下郷 宰
勝部 麗子

(社福) 江東区社会福祉協議会会長
(特非) こうとう親子センター副代表理事
ダイヤモンド暮らしの応援隊副代表
(社福) 豊中市社会福祉協議会事務局長

語ろう編(ライブ配信／双方向での意見交換・質疑応答有) 10月21日 火 ~10月23日 木

住民主体の地域づくりを進める上で直面する課題の解決に向けた「実践編」として、3つの代表的なテーマを設定しました。さらなる事例の紹介とパネリストとの意見交換や質疑応答も含めて現場の活動を意識した議論を行います。

10月21日 火 13:00~15:00

生活支援コーディネーターと協議体による地域づくり —悩みを出し合い様々な解決方法を共有しよう—

生活支援コーディネーターと協議体の仕組みは全国で広がり、様々な助け合いや主体的な住民による取り組みも広がってきた。一方で、取り組みば取り組みほど、悩みも増える。人口減少が進み、地域のニーズが変化する中、制度も変化する。様々な悩みを出し合い、登壇者や参加者みんなで解決方法を議論しよう

進行役 鶴山 芳子

(公財) さわやか福祉財団常務理事
共生社会推進リーダー

登壇者 田中 明美

斉藤 節子
目崎 智恵子

奈良県福祉保険部次長

南アルプス市元第1層 SC

(公財) さわやか福祉財団共生社会推進リーダー
高崎市第1層 SC

10月22日 水 13:00~15:00

有償ボランティアによる生活支援(移送含む)の具体的な立ち上げノウハウ

各地で一人暮らしや認知症の方なども増える中、どの地域でも生活支援・移動支援のニーズは高く、継続的な仕組みとしての有償ボランティアが有効である。一方で「不安があり立ちあがらない」「家の中での生活支援に至らない」などの声も聞こえる。ではどう立ち上げていけばよいのか、具体的なノウハウやコツを共有し、皆で語り合ってみよう

進行役 鶴山 芳子

(公財) さわやか福祉財団常務理事
共生社会推進リーダー

登壇者 加藤 由紀子

河崎 民子
田口 研一郎

(特非) ふれあい天童理事長

(特非) 全国移動サービスネットワーク副理事長

葛城市第1層 SC

10月23日 木 13:00~14:30

助け合いの社会的価値とつながり方

人と人とのつながりや助け合い活動は、数値だけでは測れない効果や役割がある。「見える化」や短期的な評価が求められがちな社会の中で、助け合いの社会的価値をどう示せるのか、つながりのあり方と共に考える

進行役 清水 肇子

(公財) さわやか福祉財団理事長

登壇者 河田 瑠子

高木 大資
新田 國夫

支え合いのしくみづくりアドバイザー

京都大学大学院医学研究科社会的インパクト評価学講座特定准教授

(一社) 日本在宅ケアアライアンス理事長

配信スケジュール

各プログラムの詳細は中面をご覧ください（時間は現段階でのおおよその予定です）。

10月	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)
13:00	開会メッセージ			
13:05		都市部を中心とした 近隣助け合いの広げ方	助け合いへの 参加・創出に向けての アプローチ手法	認知症の人と 共に生きる地域づくり
14:05	オープニング フォーラム			
14:35		小規模自治体で 助け合いをどう広げるか	誰でも受け入れる 居場所にするには	
14:50				子どもの育ちを 地域で応援しよう
	特別トーク (特別講演)	特別トークテーマ(各15～20分) ・地域共生社会と地域包括ケア ・生活支援コーディネーターと協議体とフレイル予防 ・孤立予防と社会参加、助け合い ・多世代交流の意義と社会参加 ・認知症の理解と対応 ・金融と福祉の連携 ・これからの社会保障 ・外国人との共生 ・住民の地域参加とウェルビーイング～国際比較の視点を交えて		

10月	20日(月)	21日(火)	22日(水)	23日(木)
13:00	企業と連携した 地域づくりの進め方	生活支援コーディネーター と協議体による地域づくり	有償ボランティアによる 生活支援（移送含む）の 具体的な立ち上げノウハウ	助け合いの社会的価値と つながり方
14:15	シニアの地域参加の 広げ方	一悩みを出し合い様々な 解決方法を共有しようー		

- ・ 本フェスタ終了後、ご希望の参加者に各プログラムをまとめたダイジェスト資料をご提供します。
- ・ 10月23日(木)までの開催期間中もお申し込みが可能です。ただし、お申し込み後、ご視聴まで登録手配に数日いただく場合があります(参加費は同額です)。

お問い合わせ

総合窓口

公益財団法人さわやか福祉財団
いきがい・助け合いオンラインフェスタ2025事務局

メール festa@sawayakazaidan.or.jp

TEL 03-5470-7751(平日9:30～17:30)

視聴に関するお問い合わせ

(運営委託先：株式会社ストラーツ内)

TEL 0120-197-585(平日10:00～18:00)

※8/19以降予定